

# 有限会社シーケーテクノ

## 様々な形状の「精密加工」に対応するための設備導入計画



### 会社紹介

冷間鍛造や圧造工具の製作を行い  
上場企業を含めた約50社と取引



代表取締役  
北川 富夫

自動車・建築金具部品の冷間鍛造メーカーで、20年以上勤務した経験を基に平成10年に創業、4年後に法人設立しました。主な事業は冷間鍛造プレスに用いる圧造工具の設計・生産です。自動車産業向けにフィンガーやチャックスピンドル等を製造し、これらの部品は自動車のパーツを締結する工業用ファスナーなどの製造に用いられています。取引先数は上場企業を含めて約50社。そのうち30社は常時取引を行う関係を築いています。

### 有限会社シーケーテクノ

代表者：代表取締役 北川富夫  
所在地：横浜市上田244  
設立：平成14年  
TEL：0736-32-7601  
資本金：300万円  
FAX：0736-32-7336  
従業員：7名  
E-MAIL：cktechno@is2.itkeepernet.jp  
業種：金属製品製造業  
UR L：http://cktechno-inc.com/

### 補助事業

## 最新の型彫り放電加工機を導入して より高精度な商品を提供、取引拡大を目指す

同社の製造工程はデータ作成 (CAD/CAM)、素材荒加工、焼入れ、精密加工、検査、納品が一連の流れとなっている。そのうち精密加工の工程では、材質や形状によって、研磨機、ワイヤー放電加工機、型彫り放電加工機の設備を利用している。研磨機はミクロン単位の高精度要求に対応でき、ワイヤー放電加工機においても6台保有していて、日夜で製造を行っている。しかし型彫り放電加工機に関しては、保有している機械が30年以上前のもので、加工時に微妙ながたつきが発生。高精度加工に対応できず、加工形状によっては受注を断ったり、外注へ依頼したりせざるを得なかった。

この状況を打破するため、型彫り放電加工の強化を目的に、ものづくり補助事業を活用して最新の専門機の導入を検討。希望機種は世界トップシェアメーカーであるソディックの「リニ

アモータ駆動高速型彫り放電加工機 AL40G」で、最小指令単位が0.001ミクロン、最小駆動単位が0.01ミクロンと、今まで不可能だった高精度加工が可能となる。代表や工場長、放電加工に強い現場作業員、過去に同補助事業に携わった経験を持つ事務員の4人でチームを組み、同機の性能や仕様を確認し、専門機を導入することが決定された。

他の工程との動線を考慮しながら、工場内の最適なレイアウトを決め、令和5年に搬入・設置。試行で自動車産業向けのプレスや鍛造用異型ダイスを加工した結果、求める加工精度をクリアし、安定した加工を継続して行えることが確認できた。また導入機は作業員が付き切りで作業する必要がなく、夜間の無人稼働も可能。専属の担当者を要しないことから収益面での効果が期待できることも分かった。

### 成果

## 設備導入により加工精度が段違いに向上 外注依存からの脱却や短納期の実現も

同事業の具体的な成果は以下の4つ。1つは設備導入によって、希望していたミクロン単位の加工はもちろん、サブミクロン単位 (10分の1ミクロン) の精度も可能となった。2つ目は、型彫り放電加工機でしか対応できない底つき形状金型の加工受注を積極的に取り組み、自動車部品向け金型以外に、家電向け金型へも展開した。3つ目として、外注していた型彫り放電加工を内製化したことで、外注依存から脱却でき、年間120万円の外注費が削減できた。最後の4つ目は外注先の納期管理が不要となったことから、通常の納期に1カ月かかっていたところ、3週間にまで短縮。また夜間の無人稼働も行えるため、顧客からのさらなる短納期ニーズへの対応も前向きに検討。これも取引拡大において大きな武器となっている。



### 今後の展開

## 既存分野の自動車産業に加えて 家電業界へも取引を拡大するチャンス

型彫り放電加工機でしか対応できない、底つき形状の金型加工の潜在需要はすでに把握。自動車部品のハンドルやパワーステアリング部品用金型の受注が見込まれ、実際に既存取引先からの要望も受けている。

また家庭用エアコンのコンプレッサ部品用金型の製造も可能に。特に同部品はメーカーや製品ごとに形が異なり、定期的なモデルチェンジもあるため、長期的なリピート受注が見込める製品である。これは、自動車向けの受注が中心である会社にとって、取引業界を広げる大きなビジネスチャンスにつながっている。

